平成29年度　幼稚園教育課程

教育目標	・自ら進んで環境にかかわる活動を通して、心身ともにたくましく、仲間とともに育ち合う、豊かな心をもった子どもの育成に努める。	目指すこども像	○元気で明るい子ども ○正しいこと、美しいことがわかる子ども ○素直で思いやりのある子ども ○最後までがんばる子ども

発達課程（発達の特徴）	4歳児	5歳児
	・全身のバランスがとれ、体の動きが巧みになる。 ・自然など身近な環境へのかかわり方や遊び方を体得していく。 ・自意識の高まりと葛藤、自己発揮と他者との協調を通して、社会性をはぐくむ。 ・創造力や感情が豊かになり、少しずつ自分を抑えられるようになる。	・基本的生活習慣の確立。 ・運動あそびをしたり、体を動かしたりして活発に遊ぶ。 ・仲間とともに遊ぶ中で、決まりを守ることや社会性を体得していく。 ・判断力、認識力の高まりと自主性、自立性の形成。

教育のねらいと内容			
健康・食育	・明るく伸び伸びと行動し、充実感を味わう。　・自分の体を十分に動かし、進んで運動しようとする。　・健康、安全な生活に必要な習慣や態度を身につける。		
	・幼稚園における生活の仕方を知り、先生や友達と触れ合いながら安定感をもって行動する。 ・さまざまな遊具や用具の安全な遊び方を知り、十分に体を動かして集団遊びを楽しむ。 ・身の回りを清潔にし、生活に必要な活動を自分でしようとする。 ・健康な生活のリズムを身につける。 ・先生や友達と楽しく食事をする中で、嫌いなものでも少しずつ食べようとする。	・さまざまな活動に親しみ、楽しんで取り組む。 ・自分の体を大切にしようとする気持ちが育ち、自主的に行動することができる。 ・進んで戸外遊びや体育遊びに親しみ、十分に体を動かしながら、体の使い方やバランス感覚を養う。 ・意欲を持って菜園活動などの体験を積み重ね、先生や友達と収穫や食事を楽しむ。 ・危険な場所、危険な遊び方、災害時などの行動の仕方がわかり、安全に気をつけて行動する。
人間関係	・幼稚園生活を楽しみ、自分の力で行動することの充実感を味わう。　・身近な人と親しみ、かかわりを深め、愛情や信頼感をもつ。　・社会生活における望ましい習慣や態度を身につける。		
	・先生や友達と共に過ごすことの喜びを味わう。 ・自分で考え、自分で出来ることは自分でする。 ・先生や友達と積極的に関わりながらつながりを広げ、喜びや悲しみを共感し合う。 ・友達と楽しく生活する中で、決まりの大切さに気づき、守ろうとする。 ・良いことや悪いことがあることに気づき、考えながら行動する。	・自分の思いを相手に伝え、相手の思いに気づいたり、意見を受け入れたりしながら関わりを深める。 ・共同の遊具や用具を大切にし、みんなで使う。 ・先生や友達との安定した関係の中で、意欲的に活動しながら、物事をやり遂げようとする気持ちをもつ。 ・友達と活動する中で、共通の目的を見いだし、工夫したり、協力したりする。 ・異年齢の友達や地域、身近な人などに思いやりや親しみ、いたわりの気持ちをもって接する。
環境	・身近な環境に親しみ、自然と触れ合う中で、様々な事象に興味や関心をもつ。　・身近な環境に自分から関わり、発見を楽しんだり、考えたりし、それを生活に取り入れようとする。 ・身近な事象を見たり、考えたり、扱ったりする中で、物の性質や数量、文字などに対する感覚を豊かにする。		
	・身近な環境に興味を持って関わり、自然事象や数量、図形などに関心を持つ。 ・自分の物、人の物、共同の物の区別に気づき、大切にしたり、譲り合って使ったりする。 ・身近な動植物に親しみをもって接し、生命の尊さに気づき、いたわったり、大切にしたりする。 ・園の行事に参加して楽しむ。	・自然や身近な事物や事象に関心をもち、それを遊びに取り入れ、作ったり工夫したりする。 ・身近なものを大切に扱い、自分の持ち物を整理整頓する。 ・日常生活の中で、簡単な標識や文字などに関心をもつ。 ・園内外の行事などに喜んで参加する。
言葉	・自分の気持ちを言葉で表現する楽しさを味わう。　・人の言葉や話などをよく聞き、自分の経験したことや考えたことを話し、伝え合う喜びを味わう。 ・日常生活に必要な言葉が分かるようになるとともに、絵本や物語などに親しみ、先生や友達と心を通わせる。		
	・先生や友達の話を聞いたり、自分の経験したことや思っていることを言葉で伝えたりする。 ・進んで日常生活に必要なあいさつをする。 ・絵本や物語などを見たり、聞いたりしてイメージを広げ、想像する楽しさを味わう。 ・いろいろな体験を通じて、イメージや言葉を豊かにする。	・生活の中で、言葉への興味・関心を育て、豊かな言葉を養い、会話を楽しむ。 ・絵本や物語などに親しみ、その面白さがわかって想像して楽しむ。 ・人の話を注意して聞き、相手にわかるように話す。 ・簡単な文字や記号などに関心をもつ。
表現	・いろいろなものの美しさなどに対する豊かな感性をもつ。　・感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ。　・生活の中でイメージを豊かにし、様々な表現を楽しむ。		
	・生活の中で様々な音、色、形、手触り、動きなどに気づいたり、感じたりするなどして楽しむ。 ・友達と一緒に音楽に親しみ、歌ったり、踊ったり、簡単なリズム楽器を鳴らしたりして楽しむ。 ・感じたことや思ったこと、想像したことなどを、様々の方法で自由に表現する。 ・かいたり、作ったりすることを楽しみ、遊びに使ったり、飾ったりする。	・音楽を聴いたり、歌ったり、リズム遊びや楽器を使って演奏したりして、五感を豊かにする。 ・経験したことや感動したことを絵に表現したり、いろいろな素材を使って、工夫して作品を作ったりする。 ・自分のイメージを動きや言葉などで表現したり、演じて遊んだりするなどの楽しさを味わう。 ・様々な出来事の中で、感動したことを伝え合う楽しさを味わう。

教師の配慮	・感染症の予防、適切な判断と対応を行う。 ・自己を十分に発揮して活動することを通して、やり遂げる喜びや自信が持てるようにする。 ・生活や遊びを通して決まりがあることの大切さに気づき、自ら判断して行動できるようにする。 ・自然とのふれあいにより、感性、認識力、思考力、表現力が培われるよう、自然との関わりを深める工夫をする。 ・自分なりの言葉で表現することの大切さを踏まえ、子どもの話しかけに応じ、仲間と伝え合い、話し合うことの楽しさが味わえるようにする。	・生活に必要な態度や習慣を身につけることの大切さを理解し、適切な行動がとれるよう丁寧に伝えたり、見守ったりする。 ・全身を動かして意欲的に活動することにより、体の諸機能の発達が促されるように配慮する。 ・友達とのけんかやトラブルを通して、葛藤を経験しながら、相手の気持ちを理解し、相互に必要な存在であることを実感できるようにする。 ・異年齢の活動を通して、いろいろな友達と関わりが深まるように援助する。 ・創意工夫を凝らして、自由に表現できるよう、必要な素材や用具、環境の設定に留意する。	
家庭・地域との関わり	・行事に保護者参加の場を設け、親相互の心のつながりに努める。 ・親子の心の育ちにつながる交流活動の充実に努める。 ・子育て支援の一環として、幼保の連携とその充実に努める。	特色ある教育	・幼保一体化施設として、異年齢交流を通じて、互いに成長し合う教育をする。 ・英会話教育を通して、国際感覚を養う。 ・文字や数に対する興味や関心を持つようにする。 ・アスリート教室を通した体育指導　・詩吟教室など
保・幼・小の連携	・生活や学習の基盤を培うための就学前教育の充実を図り、文字・数遊び等の活動を取り入れ、特徴ある幼稚園教育に努める。 ・小学校行事への参加　・保幼小連絡会議　・小学生との交流　・指導要録 ・職員同士の情報共有や相互理解などの積極的な連携を図る。	研修計画	・教育課程研修会への参加 ・園内研修の充実 ・園外研修への積極的な参加